

MINATOYA YUMEKICHI



70~80年代、札幌で「世界」と対峙した漫画家・湊谷夢吉の作品群が蘇る!

湊谷夢吉とその時代展

2010年6月16日(水)~22日(火)

場所 **TO OV** cafe 札幌市中央区南9条西3丁目1-1 マジソンハイツ1F
ト・オン・カフェ

<http://hokkaido-manga.jp/minatoya/>



静かな人だった。生きていることにはにかみ、微笑している。
そんな静けさが湊谷氏に漂っていた。

—かわぐちかいじ

(アスペクト刊『湊谷夢吉作品集Ⅱ 魔都の群盲』あとがきより)

しかしそれ以上に魅きつけられたのは、この作家のもっている驚くべき深度と密度にみちた多次元的な興味とその描写力であった。

—椎名 誠

(アスペクト刊『湊谷夢吉作品集Ⅰ 虹龍異聞』あとがきより)



■70～80年代を疾走した湊谷夢吉

湊谷夢吉は、1950年京都に生まれ、72年札幌に居を定めた。以来、札幌を拠点に漫画家として創作活動を展開。また73年に結成した「銀河画報社」では、映像作家山田勇男など、そこに集った同志とともに、音楽、映像など様々なジャンルでの活動によって札幌のサブカルチャーシーンのひとつの極となった。メジャー誌での活動も広がり、3冊の作品集を世に送ったが、1988年札幌区大病院に入院。癌のため38歳の若さで急逝した。彼の作品は、独特の物語世界とともに、「完璧主義者」と称されるほどのディテールへのこだわりと緻密さをもち、少なからぬ後進の作家に影響を与えている。

■湊谷夢吉の珠玉の漫画原画等を展示

本展覧会では、湊谷夢吉の描いた漫画原画の数々や、映像作品、出版物、写真などを展示。湊谷夢吉の世界観に出会うと同時に、70～80年代の札幌のカルチャーシーンに触れることができる。またカフェを併設した会場では、絶版となっている作品集を用意し、湊谷作品をじっくり楽しむ。

■「湊谷夢吉とその時代展」に期待します

●森本晃司(アニメーション監督)

最初に出会った湊谷夢吉の作品の印象は、和製ブレイドランナー??不思議な世界に熱くなったのを思い出します。昭和SFゲルニカの新世紀の運河や、教授の未来派野郎とかと共通の躍動するエネルギー、土の匂い、妖しいロマン等々 多大な影響を受けました。ロボットの出てくるプリキの蚕等、すごく好きです。飛べ飛行少年たちよ、あなたのこの言葉を受け継いでいきます。

●花輪和一(漫画家)

巨大な飛行船、爆破されたSL、日本軍人、話しの内容は緊迫するはずなのに、登場人物はくわえタバコで焦りや恐怖はない。主な舞台となっている当時の中国の風景や風俗が、きわめて少ない資料にもかかわらず、大変よく描けていて感心する。大陸のおおらかさが、湊谷氏の心情と合致していたものかも知れない。

●菅野 修(漫画家)

ありきたりのことを言ったら、きっと湊谷さんはあの眼差しの深いところで笑うだろう。私は、いつも現実と夢との破綻を包み込む懐の大きさを羨ましく思っていた。同業者として、一本の線あるいは漆黒のペタ一枚で作家としての力量が分かるというものだ。湊谷さんは、自身の設計による王国の宮殿をたまに冗談をいながら今も創り続けているだろう。

それが、いかに困難であり大事業であろうと湊谷さんであれば必ず成し遂げるのだった。少し遅れてしまった私なのだが、ポケットに小石を忍ばせてあいに行こう。湊谷さんの城壁の一部として。

■関連イベント

連続シンポジウム「垂直の路地裏—1970～80年代における札幌市のサブカルチャーシーンの再確認と伝承—」

札幌の70～80年代...中島みゆきが「南三条」に歌った都市のストリート。ここから音楽、演劇、映画、漫画、出版など、澎湃と沸き上がる文化の光芒があった。これら創造の「場」はどのように生まれていったのか。記録に残されることの少なかった札幌の70、80年代のサブカルチャーシーンを当時のキーパーソンたちが語る。

●日時

6月19日 17時～19時

6月20日 13時～15時

15時30分～17時30分

session 1 駅裏8号倉庫のインバクシオン

session 2 そこにあった音楽の場所

session 3 湊谷漫画と銀河画報社

飯塚優子 中島 洋

高瀬清志 和田博巳

阿部幸弘 ミミ山田

●場所 イベントスペースEDiT 札幌市中央区南2条西6丁目(東急ハンズ裏)

70～80年代、札幌で「世界」と対峙した漫画家・湊谷夢吉の作品群が蘇る! 湊谷夢吉とその時代展

2010年
6月16日(水)～22日(火)

■問い合わせ

TO OV cafe(ト・オン・カフェ)

札幌市中央区南9条西3丁目1-1 マジソンハイツ1F TEL 011-299-6380

株式会社インテリジェント・リンク

札幌市中央区北4条西7丁目 緑苑第2ビル307 TEL 011-271-2080 FAX 011-271-2055

e-mail minatoya@hokkaido-manga.jp URL <http://hokkaido-manga.jp/minatoya/> Twitter <http://twitter.com/yumekichimanga>

■主催「湊谷夢吉とその時代展」実行委員会

(共同代表) 麻生栄一(コア・アソシエイツ代表取締役)、北村清彦(北海道大学大学院文学研究科教授)、中島 洋(シアターキノ代表)、増淵敏之(法政大学大学院政策創造研究科教授/北海道マンガ研究会代表)

※本事業は2009年度トヨタ財団研究助成を受けています。



■場所 TO OV cafe

ト・オン・カフェ

札幌市中央区南9条西3丁目1-1
マジソンハイツ1F